

## 松浪地区防災訓練の検討

### 【防災対策課の例示の考え方】

- ・コロナ禍の状況を踏まえ、その制約範囲内（三密、感染防止）で可能な、夫々の地区のニーズに合った訓練。（市内一律の訓練を実施することは考えていない。各地区の意思を尊重）
- ・地域の一般住民の参加は難しい。市配備職員、市防災職員、自治会役員等での限定的な人数。
- ・情報受伝達訓練（必須ではない）（実施方法は各地区のニーズに合わせて）
- ・ロールプレイングゲーム

HUG（ヒナンジョウエイゲーム）：災害発生直後に避難所を開設し、避難者を受け入れる際に発生する諸事象に対処。

CROSSWORD：災害が発生した時に発生する可能性のある問題に対し、夫々がどのように判断し、その意見を出し合い、深化させ、コンセンサスを作るスキルを育成。（家族を残して避難するか／食料をどう分配するか／etc；正解を求める訳ではない）

マイタイムライン：台風等の予測可能な災害に対し、対策スケジュール、避難計画等を策定。

- ・他地区での計画

地区拠点間（小中校学間）を含めた情報伝達訓練／避難所の防災資機材の展示（コロナ対応含）／安否確認／避難所設営訓練／等

### 【提案】

#### 〈避難所運営マニュアル〉

「令和3年度災害対策防災拠点打合せ」で紹介

「避難所運営マニュアル」（各小中学校）は具体的に記載され、レベルアップしている。

「避難所運営は市職員や学校職員だけでなく、避難者や地域の自主防災組織、防災リーダーを中心とした自主的な避難所運営が必要となる」

地域に対する教宣は不十分

「避難所運営マニュアル」＋「避難所運営ゲーム」（HUG）⇒効果高い

（一案として）

日 時：2021年11月13日（土）

場 所：松波コミュニティセンター 2階会議室

9：00～12：00 午前の部（訓練正味2.5時間）

研修①避難所運営マニュアル      研修②避難所運営ゲーム（HUG）

途中休憩とQA

13：30～16：30 午前の部（訓練正味2.5時間）（内容は午前と同じ）

以上